

中東情勢に関する関係閣僚会議（第3回）議事要旨

（開催要領）

1. 開催日時：令和8年4月10日（金）08:00~08:15
2. 場 所：首相官邸4階大会議室
3. 出席者：
 - ・高市 早苗 内閣総理大臣
 - ・木原 稔 内閣官房長官
 - ・茂木 敏充 外務大臣
 - ・鈴木 憲和 農林水産大臣
 - ・赤澤 亮正 経済産業大臣（兼）中東情勢に伴う重要物資安定確保担当大臣
 - ・金子 恭之 国土交通大臣
 - ・小泉 進次郎 防衛大臣
 - ・石原 宏高 環境大臣
 - ・林 芳正 総務大臣
 - ・平口 洋 法務大臣
 - ・片山 さつき 財務大臣（兼）内閣府特命担当大臣（金融）
 - ・松本 洋平 文部科学大臣
 - ・上野 賢一郎 厚生労働大臣
 - ・松本 尚 国務大臣
 - ・牧野 たかお 復興大臣
 - ・あかま 二郎 国家公安委員会委員長
 - ・黄川田 仁志 国務大臣
 - ・城内 実 国務大臣
 - ・小野田 紀美 経済安全保障担当大臣
 - ・尾崎 正直 内閣官房副長官（衆）
 - ・佐藤 啓 内閣官房副長官（参）
 - ・露木 康浩 内閣官房副長官（事務）
 - ・阪田 渉 内閣官房副長官補（内政）
 - ・河邊 賢裕 内閣官房副長官補（外政）

・市川 恵一 国家安全保障局長

(議事次第)

1. 開会
2. 議事 中東情勢をめぐる状況等について
3. 閉会

(配布資料)

- 資料1 外務省提出資料
- 資料2 経済産業省提出資料
- 資料3 厚生労働省提出資料
- 資料4 国土交通省提出資料
- 資料5 農林水産省提出資料
- 資料6 環境省提出資料
- 資料7 供給の偏り・流通の目詰まり解消案件

(議事内容)

○木原官房長官

ただ今より、「中東情勢に関する関係閣僚会議」を開催致します。

それでは議事に入ります。出席者の皆様から、順に各省庁の取組状況について、ご発言をお願いいたします。まず、茂木外務大臣より、御発言をお願いします。

○茂木外務大臣

おはようございます。最新の情勢についてご報告申し上げます。

一昨日、米国とイランの間で一時停戦が発表されました。我が国は、事態の早期沈静化が何よりも重要との立場から、首脳会談をはじめ様々な外交努力を重ねてまいりました。この観点から、今般の米国・イラン双方の発表を前向きな動きとして歓迎をしております。

今後、米イラン間の協議を通じて、ホルムズ海峡の航行の安全を含め、事態の沈静化、そして、最終的な合意に早期に至ることが重要です。8日には、高市総理からイラン大統領に対して、こうした考えを直接伝えていただきました。また、有志国による首脳共同声明を通じて、停戦の実施を訴えたところで

私自身も、これまで3度に亘ってイランのアラグチ外相と電話会談を行ったほか、仲介国との意思疎通を強化してきております。事態発生以降、電話を含め約30回の外相会談を行ったほか、ホルムズ海峡に関する外相オンライン会合等に参加し、精力的に外交的取組を行っております。

特に、レバノン情勢がありますが、イランが今後2週間ホルムズ海峡の安全な航行が可能と言及してい

る中、日本関係船舶の一日も早いホルムズ海峡通過に向けて、引き続きあらゆる外交努力を行ってまいります。

○木原官房長官

次に、赤澤経済産業大臣（兼）中東情勢に伴う重要物資安定確保担当大臣より、ご発言をお願いいたします。

○赤澤経済産業大臣（兼）中東情勢に伴う重要物資安定確保担当大臣

おはようございます。

燃料油・石油製品は、「日本全体として必要となる量」を確保できており、今後も全力で確保してまいります。代替調達には、私自身、サウジやUAE、オマーンの閣僚との会談を重ねております。5月には、前年実績比で過半の代替調達に目途がついたところです。この結果、備蓄放出量を抑えながら、年を越えて、石油の供給を確保できる目途がついております。

5月上旬以降、第二弾の国家備蓄放出として、約20日分を放出します。ガソリンは、価格を抑制する緊急的な激変緩和措置により、170円程度の水準を維持しています。ナフサについても、これまで国内需要の4か月分を確保しておりましたが、中東以外からの輸入を倍増することにより、川中製品在庫を活用できる期間を半年以上に延伸できております。

全体確保ができて一方、流通段階において、一部に供給の偏りや目詰まりが生じているため、政府のタスクフォースで議論を重ね、重要物資の安定的な供給確保のための対応方針案をまとめました。まず、重要施設向けの燃料確保のために、元売事業者から「直接販売」を行うよう要請しました。また、大手元売事業者および卸売事業者に、前年同月比同量を基本として供給するよう要請したところです。

ナフサ由来の化学製品、医療関連物資、食品包装用品などの重要物資についても、物資ごとに、需要側在庫の活用、国内外での製造拡大、川中製品の代替調達などを引き続き、実施してまいります。

特に医療分野は、厚生労働大臣と私が本部長を務める対策本部で、サプライチェーン全体を把握し、供給の偏りや目詰まりをひとつひとつ、確実に解消してまいります。

国民の皆様の命と暮らし、そして経済活動に影響が生じないように、万全の対応を講じていきます。

○木原官房長官

次に、上野厚生労働大臣をお願いいたします。

○上野厚生労働大臣

先週の閣僚会議における総理からのご指示のとおり、赤澤大臣と共同で対策本部を2度開催しました。

まず、製造販売業者や医療機関向けの窓口設置、EMIS（イーミス）を用いた、約1.3万の病院等からの報告システムの運用開始など、医療現場からの声を丁寧に拾う体制も整えたほか、本日、医療関係団体との意見交換も開催します。

既に543件の情報等をいただき、効果的な情報収集が行われていると考えますが、これを一層強化し、

分析・対策へと確実に結びつけるため、人員体制の強化を行っています。

このように、経済産業省とも一丸となって積極的に対応を進めており、安定供給に影響があると判断された16件のうち、注射器のシリンジ、酸化エチレンガスなど5件については、流通段階の目詰まりを迅速に解消いたしました。

なお、対応検討中の案件として、透析用チューブなど、石油製品を原料としてアジア諸国で生産されているものが一定あることを確認しております。国内での対応について、流通経路や目詰まりの確認等が重要であるとともに、海外での対応を強化していく必要があると考えています。

このような製品に関して、それぞれ、経済産業省と連携して様々な選択肢を視野に対応策を検討するほか、供給元の特定等についても確認を進めているところです。

こうした、流通段階の目詰まりを、ひとつひとつ丁寧に解消していくことで安定供給を実現できると考えていますので、引き続き全力で取り組んでいきます。

○木原官房長官

次に、金子国土交通大臣お願いいたします。

○金子国土交通大臣

おはようございます。

ペルシャ湾内における日本関係船舶に関しては、今月3日から6日にかけて3隻がホルムズ海峡を通過をし、現時点では42隻となったとの報告を受けております。

また、重要物資の供給確保に関しては、所管の事業者等から、燃料油やシンナーなど石油製品に係る供給不安の声が出ており、業界団体等を通じた聞き取りや国交省ホームページに設けた相談窓口などにより、状況の把握を行っております。

その上で、経済産業省との連携・協力による個別の調整などにより流通の目詰まりの解消を図っており、現時点※で13件の供給が再開されました。

今後も情報収集や状況の把握に努め、関係省庁とも連携・協力し、流通の目詰まりの解消等に取り組めます。

○木原官房長官

次に、鈴木農林水産大臣お願いいたします。

○鈴木農林水産大臣

本日、省内に「中東情勢に伴う食料の安定供給・確保のための対応チーム」を設置します。経済産業省と連携して事業者への必要な資材、燃油や必要な資材の供給確保に全力を尽くします。

なお、3月末に本省に加え、地方農政局等に窓口を設置し、事業者からの相談件数241件に対応し、情報収集の強化を進めており、地域の基幹的な乳製品工場について、経済産業省と連携し、燃油の供給確保に繋げることができましたので、引き続き万全な対応をまいります。

○木原官房長官

次に、石原環境大臣お願いいたします。

○石原環境大臣

廃棄物処理業に必要な燃料油・石油製品の調達に、深刻な支障は生じていませんが、一部の市町村での入札不調や事業者への供給目詰まりが発生しています。

環境省は、経産省と連携して供給目詰まりへ対応しており、焼却施設の重油不足を解消した事例があります。

引き続き、緊張感を持って対応してまいります。

○木原官房長官

次に、小野田経済安全保障担当大臣お願いいたします。

○小野田経済安全保障担当大臣

今般の中東情勢の影響を受けた足元の緊急的な対応と同時並行で、ある程度先を見越して、幅広く、重要な物資の安定供給の確保を進めていくことが重要。これまで特定重要物資の在り方を検討いただいているところではあるが、改めて各省において精査いただき、必要に応じて相談いただきたい。

今回顕在化したリスクも踏まえ、経済安全保障推進法に基づく施策をはじめ、経済安全保障施策全体として横串を通じた対応が必要とされる場合には、経済安全保障担当大臣として役目を果たしてまいります。

○木原官房長官

それでは、最後に、高市総理大臣から御発言をいただきます。その前にプレスが入室します。

それでは、高市総理、よろしくお願い致します。

○高市総理大臣

お疲れ様です。今回は、全閣僚にお集りいただきました。

国民の皆様の命と暮らしと経済活動に影響が出ないように、これまで以上の緊張感とスピード感を持って対応に当たってまいります。

先週の本閣僚会議の後、インドネシア、フランスとの首脳会談に加え、アラブ首長国連邦の首脳とも電話会談を行い、事態の早期沈静化、ホルムズ海峡の安定、そして重要物資の安定供給に向け、連携していくことで一致しました。

8日には、イランとの首脳会談も行い、米・イラン間の停戦の発表を踏まえ、ホルムズ海峡の航行の安全確保を含む事態の沈静化が実際に図られることが最も重要であり、外交を通じて最終的な合意に早期に至ることを期待する旨をお伝えしました。

併せて、イラン現地当局に拘束されていた邦人につきまして、日本政府からの度重なる要請を受け、1名は3月20日に帰国、もう1名は今月6日に保釈されたと確認していますが、完全な解決はまだです。

また、ホルムズ海峡の航行の安全確保については、今月3日から本日までに、日本関係船舶3隻がホルムズ海峡を通過しました。

国民の皆様の暮らしに影響がでないよう、ガソリン、軽油、重油、灯油などの補助を継続しており、今週のガソリン価格も、170円に抑制できています。

原油については、ホルムズ海峡を通らないルートでの調達に最大限注力し、現時点において、5月には前年実績比で過半の代替調達が可能となる見込みであり、年を越えて、石油の供給を確保できる目途がついています。

こうした中で、原油の安定供給に万全を期すため、5月上旬以降、「第二弾の国家備蓄」の放出として、約20日分を放出します。「日本全体として必要となる量」は確保していますが、一部で「供給の偏り」や「流通の目詰まり」が生じていることから、今日様々なお発言をいただきましたが、お手元の資料のとおり、医療、交通、食品、環境・衛生など国民の皆様の生活を支える分野でのお困りごとを政府一丸となって、一件一件、着実に解消してきました。

しかしながら、まだまだ行き届いていないケースが見受けられます。例えば、住宅建設や自動車整備などで使われる塗料用シンナーに対する供給不安の声も伺います。赤澤大臣と金子大臣は、川中のどこで目詰まりが発生しているのか特定の上、一刻も早く、総力を挙げて目詰まりを解消してください。

医療、交通、農業・水産業・畜産業などの重要施設に対する燃料油の供給については、優先順位を判断の上、卸事業者を挟まず、直接販売を行うよう、元売事業者に要請しています。

これまで、燃料油の供給については、シーズンを迎える緑茶の製造に必要なA重油や、公共インフラであるバス・トラックの軽油の供給などについて、懸念の声を頂いています。赤澤大臣は、関係大臣と連携して、この直接販売の仕組みを使って、「燃料油供給の目詰まり」を早期に解消してください。赤澤大臣と上野大臣は、川上の化学メーカーから川下の医療機関まで、海外を含む医療関係サプライチェーン全体を把握し、安定供給を必ず実行してください。

医療機関における定点観測は、現在、126か所に拡大していると聞いていますが、これに加えて、医療機関からの報告を全国レベルで精緻に行うため、上野大臣は、自然災害など非常時に活用されているEMIS(いーみす)(広域災害・救急医療情報システム)の運用を開始し、1.3万医療機関への物資の供給状況を徹底的に把握してください。さらに、この「システム」でカバーできないのは小さなクリニックになります。その状況を丁寧に把握するため、医師会や歯科医師会と連携を強化してください。

人工透析の部品以外でも、血液の廃液容器、医療用手袋などの医療関係の製品は、中東産の石油製品を原料としてアジア諸国で生産されています。こうした製品のアジア諸国からの供給確保や、サプライチェーン強靱化の観点から、アジア諸国との相互協力・支援も検討していく必要がございます。既に、海外同志国から石油などの調達支援の要請が届いており、個別に対応を進めているところです。こうした国からは、日本向けに部素材を輸出する現地日系企業の操業継続に配慮する旨の回答を頂いています。

赤澤大臣は、関係大臣と連携して、ナフサ由来の化学製品、医療関連物資、食品包装用容器、ごみ袋、半導体関連物資など、重要物資ごとに、製造メーカーが継続供給可能な期間を調査・把握した上で、需要

側や販売店の在庫の活用、国内外での製造規模の維持・拡大、そういった対応策を速やかに講じ、重要物資の安定供給をやり遂げてください。

先ほど小野田大臣からもご発言がありましたけれども、各省のサプライチェーン調査、とにかく徹底してください。その上で小野田大臣の方に集約をして、場合によっては、（経済安全保障推進法に基づく特定重要物資の）指定の拡大も私はありうべしと思っているので、対応をお願いします、以上です。

○木原官房長官

以上をもちまして本日の会議は閉会といたします。ありがとうございました。